

〒758-8555 山口県萩市大字江向510  
TEL : 0838-21-7765  
e-mail : [hg-geo@city.hagi.lg.jp](mailto:hg-geo@city.hagi.lg.jp)  
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

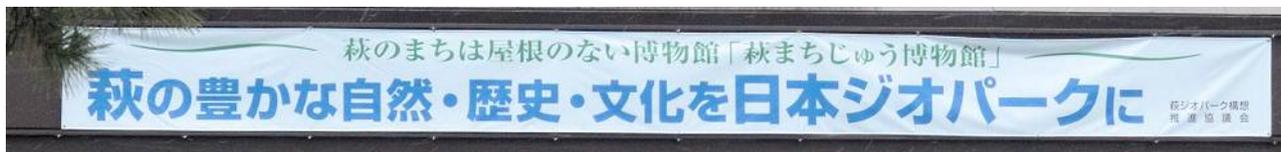
## 申請に向けて“待たなし！”の段階を迎えました 事務局長 福島康行

既にお気づきになった方もいらっしゃるかと思いますが、萩市役所本庁舎の正面に横断幕『萩の豊かな自然・歴史・文化を日本ジオパークに』を掲出しました。各地域においても準備が整ったところから、主要道路沿いなどに掲出していきます。いよいよ“待たなし！”です。

先号でもお伝えしたように、日本ジオパークネットワークの加盟申請を4月に行います。これに先立ち推協では、部会員の皆様の御意見をいただいた上で、3月に臨時総会を開催する予定です。そこで「萩はどのようなジオパークを目指すのか」、「主要なジオサイトとして何を取り上げるか」など申請に必要な事項を決定していきます。年度末、たいへんお忙しい時期に差し掛かりますが、何とぞよろしくお願いいたします。申請後は、日本ジオパーク委員会の書類審査、プレゼンテーション（5月）、現地審査（7～8月）に臨んでいきます。併せてお力添えの程、よろしくお願いいたします。



(本庁舎前に掲出された横断幕)



**萩図書館ライブラリーセッション 1月30日(土) 13:30～15:00 萩図書館2階**

### 「平安京はなぜ千年持続したか～地質学から考える～」

1月30日(土)、13時30分から、萩図書館で27年度下半期2回目のライブラリーセッションが開催されます(入場無料)。

今回は、ジオ推進協議会のメンバーでもある至誠館大学学長の原田憲一さんが、「平安京はなぜ千年持続したか～地質学から考える～」と題して、お話をされます。京都(平安京)は、なぜ千年以上も日本の都であり続けることができたのか。政治的な視点で扱われることは多いのですが、地質学の視点から奈良盆地と京都盆地を比較し論じられます。

実は、芸術工芸品の生産都市でもあった京都。萩にも通じるお話がうかがえるものと思います。



(ジオパークに関する資料も所蔵する萩図書館)

主催/共催：萩図書館・NPO 萩みんなの図書館

## 第4回ジオパーク講座

2/7(日): 須佐公民館 午後1:30~

# 「ジオパークの活用法」

約1億年前の火山活動によりできた屏風岩や約1650万年前、日本海で最初に堆積した地層、その中に入り込んだマグマの熱で焼かれてできたホルンフェルス、マグマが冷えて固まった斑れい岩など・・・須佐湾の成り立ちを紹介する「須佐湾ジオクルージング」を核としたジオツーリズムによる観光振興をめざして、ジオパークやジオガイドの実際を学びます。

講師には、山陰海岸ジオパーク(世界ジオパーク認定)ガイドであり、年間40回以上もジオパークを核とした具体的な観光振興について、全国各地で講演をこなされている今井ひろこ先生をお招きしています。先生は大阪府出身ですが、自然豊かな暮らしにあこがれ、日本海に面する兵庫県・香美町に移住。2015ジオパーク全国大会・霧島大会のガイド部会のコーディネートを担当されました。事業者のやる気を引き出し、売り上げにつながる効果的なガイドについてアドバイスをされています。

主催: 萩市・(一社) 須佐おもてなし協会

問い合わせ: 萩市ジオパーク推進室

TEL 0838-21-7765

須佐おもてなし協会

TEL 08387-6-2219



## 第5回ジオパーク講座 2/21(日): 萩博物館講座室 午後1:30~

# 「自然番組制作プロデューサーから見た萩の魅力」

萩市と萩ジオパーク構想推進協議会では、平成28年の日本ジオパーク認定を目指し、「萩の大地で地球の歴史3億年を学び、今に生かし、未来へ伝える」萩ジオパーク構想を進めています。第5回目の講座は、平成27年9月に放映されたNHKテレビ「さわやか自然百景・山口阿武火山群」の撮影・番組編集を通して見た萩の自然について、世界各地の自然を紹介する番組制作にまつわるエピソードを交えて語っていただき、「外から」萩(の自然)はどう映るのか、ということを知り、萩の自然の魅力を再認識するためのものです。講師は、アンタスプロダクション代表 松林 明先生です。先生は、萩ジオパークを紹介するプロモーションビデオの制作も行ってこられました。演題は、「自然番組制作プロデューサーから見た萩の魅力 ~NHK「さわやか自然百景・山口阿武火山群」の撮影を通して~」です。

先生の紹介をします。

講師: 松林 明 先生

1948年東京都生まれ。成城大学文芸学部芸術学科卒業。

映画会社東映に20年間勤務した後、テレビ番組制作会社を経て、2001年独立、アンタスプロダクションを設立する。テレビ朝日「ネーチャリングスペシャル」、日本TV「Time21」、NHK「生きもの地球紀行」「地球ふしぎ大自然」「ダーウィンが来た」「ワイルドライフ」「さわやか自然百景」「NHKスペシャル」等で、多数の自然番組のプロデューサー兼ディレクターとして制作に携わる。「シロクマが来る町」でカナダ・ブルースランキン賞金賞、「知られざるサル・ライオンタマリン」で地球環境映像賞・自然環境映像賞、国際霊長類学会賞。著書に「ライオンタマリンの森」(共著)、「ほらふきおじさんのホントの話」。近作「さわやか自然百景 山口阿武火山群」(2015年9月放送)で、萩の自然を描く。



(市内の町並みを撮影する松林さん: 右側)

問い合わせ: 萩ジオパーク推進室 TEL:0838-21-7765